



NO. 256

2014. 10. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

第1回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会
【島根大会】が開催されました (前編)

9月27日(土)から28日(日)にかけて島根県松江市において第1回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会【島根大会】が開催されました。

大阪市育成会からは7名の会員と5名の職員が参加しましたので、今月号と来月号の2回にわたり大会レポートを掲載させていただきます。



なお、今回の大会では、東淀川区支部の上原 友代さんが長年の功績を称えられ、全国手をつなぐ育成会連合会より感謝状の授与を受けました。



第2分科会

【働く(就労支援・雇用)】に参加して
法人本部 総務課長 綿本 忍

第2分科会では209名が参加し、【働く】をテーマに午前は生活クラブ 風の村 平田 智子氏の基調講

演が行われました。平田氏の所属する生活クラブ 風の村は、千葉にある生協を母体とし高齢・障がい・医療等様々な事業を展開している職員数1,300名、利用者数3,700名の大規模な社会福祉法人です。

その中で平田氏はユニバーサル就労支援室長を務めておられ、実践されている『ユニバーサル就労(Universal Work:略称UW)』について紹介されました。

UWとは、障害者手帳の有無に関わらず障がいがあったり、生活困窮状態にあったりと様々な理由ではたらくたい人にはたらくにくいすべての人を対象に、個性や事情に合わせた多様なはたらく方を言います。

UWでは、はたらくたい人は基本的に断らず、そのために無償・有償のコミューター、最低賃金保障職員、一般賃金職員と幾つかの形態を設けています。

コミューターとは通ってくる人の意で、雇用に至らない方を受け入れるために労働局とも相談したボランティアな形で、人によっては無償コミューターから最低賃金保障職員になられた方もいるそうです。

受け入れる事業者側は業務分解を行います。業務分解とは仕事を種類分けすることで、UWに合った仕事を見つけることができます。具体的に清掃や調理、入力作業に荷物整理などが見出されました。

はたらくたい人と受け入れる事業所をつなぐためにまずアセスメントを行い、個別支援計画を基に支援されています。現在80名がUWとしてはたらかれているそうです。

「働く」を「はたらく」と記しているのは、その人の都合でやさしくはたらくことを意識してとのことで、UWはひとつのはたらく方の提案と締められています。

午後は沖縄県手をつなぐ育成会の田中 寛氏をコーディネーターに、株式会社ハートコープひろしまの椎木 修司氏、江津市の子ども社会参加を考える会の